

科目名称	音楽基礎
授業コード	BN103
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	石橋 裕子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>ディプロマポリシーにある「教職に求められる専門的知識を習得し、学識と技能を身につけ、様々な課題について、各領域で習得した幅広い知識をもとに、解決策を提案」するために、中学・高校等で教職経験のある石橋が、以下のような目的をもって授業を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽を指導する上で必要な楽典を理解して指導できるよう、基礎的な知識や技能を修得することを目的とする。 2. 低学年の音楽の授業が行えるよう、歌唱共通教材を中心とした簡易な伴奏を用いて、ピアノで弾き歌えることを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等で教育経験のある石橋が担当する。 2. 開始・終了時には「号令係」が小学校と同様の号令をかけ、毎時間ルーブリック等を用いて授業を振り返る。 3. 配慮の必要な児童への指導上の留意点を解説する等、常に学校現場を意識した授業を展開する。
到達目標	<p>カリキュラムポリシーにある「各教科に関する基礎的な知識を学ぶ科目」として、以下の目標を設定して授業を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 音楽を指導する上で必要な音楽理論を理解して楽譜を読んだり楽曲を解釈して表現できることを目指す。 2 鍵盤楽器演奏経験に応じて、小学校歌唱教材を中心に、簡易な伴奏を用いて弾き歌えることを目指す。 3 子ども達に独唱や弾きうたいを聞かせることができるようになることを目指す。
計画・内容	<p>第1回：本講義および第10回までの楽典ガイダンス、楽典 読譜に必要な知識の確認 第2回：楽典 五線・音名・階名・音符・休符 第3回：楽典 拍子・拍 第4回：楽典 いろいろな記号 第5回：楽典 長音階（長調） 第6回：楽典 短音階（短調） 第7回：楽典 変化記号、調の判定（長調） 第8回：楽典 調の判定（短調） 第9回：楽典 これまでの学修のポイント 第10回：楽典 楽典のまとめ、ピアノ弾き歌いガイダンス 第11回：ピアノ弾き歌い 1年生歌唱共通教材 第12回：ピアノ弾き歌い 2年生歌唱共通教材 第13回：ピアノ弾き歌い 3年生歌唱共通教材 第14回：ピアノ弾き歌い 弾き歌いのまとめ 第15回：ピアノ弾き歌い ピアノ弾き歌い発表</p>

授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 楽典は教科書と練習問題が記載されたワークシートとを使用し、4人1チームでの学びを基本とする。 2 .ピアノ弾き歌いは、毎時間選択した課題曲を練習して個人又はグループでのレッスンを 行い、自信を持って演奏できる曲目を増やす。 3 .講義と演習とで授業を展開する
能動的な学びの実施	<ol style="list-style-type: none"> 1 .毎時間ルーブリックによる学修の振り返りを実施する。 2 .楽典は、協同学習による4人1グループを基準としたチームで学ぶことを基本とする。
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> 1 .楽典は、予定された箇所の教科書を読むことを予習とし、本時で実施したワークシートを理解するまで 取り組むことを復習とする（合計40時間程度）。 2 .ピアノ弾き歌いは、自身が選択した曲を練習する（合計20時間程度）。
教科書・参考書	<p>教科書 「新 保育所・小学校教員のためのわかりやすい音楽表現入門」石橋裕子他 北大路書房</p> <p>弾き歌いの教材は、レベルに合わせて指定する。</p> <p>参考書 「最新 初等科音楽教育法 改訂版」初等科音楽委教育研究会 音楽之友社 「教師のためのピアノ伴奏法入門」鈴木 渉 東洋館出版社 「いろいろな伴奏形によるこどものうた85 1学期編」石橋裕子ほか 共同音楽出版社 「いろいろな伴奏形によるこどものうた85 2学期編」石橋裕子ほか 共同音楽出版社 「いろいろな伴奏形によるこどものうた85 3学期編」石橋裕子ほか 共同音楽出版社</p>
成績評価方法と基準	楽典50%、ピアノ弾き歌い50%等を総合して評価する。
課題等に対するフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> 1 .ルーブリックは毎時間回収し、コメントを記して翌週授業開始時に返却する。 2 .ピアノ弾き歌いは、数分ずつ毎時間レッスンする。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 .楽典は、教員採用試験の問題が解けるよう、また、低学年の音楽の授業を指導するため、繰り返して学ぶ必要がある。 2 .ピアノによる弾き歌いは、地道な練習と努力が必要である。授業直前に数分練習するだけでは上達せず、単位取得にはつながらない。 3 .理由のない遅刻等は欠席扱いとする場合がある。 4 .本科目を履修しなければ、器楽、声楽、初等教科教育法（音楽）は履修できない場合がある。 5 .小学校教諭一種免許必修科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方 学内インフラを使用した課題学修と、テレビ会議システムZOOM等での授業を展開する。</p> <p>成績評価方法の規準 提出物50%、期末試験50%、等を総合して評価する。</p>